

岡山県感染症週報 2014 年 第 42 週 (10 月 13 日～ 10 月 19 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

◆2014 年 第 42 週 (10/13～ 10/19) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 40 週	2 類感染症	結核	3 名 (40 代 男 1 名、50 代 女 1 名、70 代 男 1 名)
	5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 名 (70 代 女)
第 41 週	2 類感染症	結核	2 名 (50 代 女 1 名、70 代 男 1 名)
	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 名 (O26: 幼児 女)
	5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1 名 (70 代 男)
第 42 週	2 類感染症	結核	4 名 (20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、80 代 女 1 名、90 代 男 1 名)
	5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 名 (70 代 男)
		後天性免疫不全症候群	1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- RS ウイルス感染症は、県全体で 25 名 (定点あたり 1.00 → 0.46 人) の報告があり、前週より減少しました。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 33 名 (定点あたり 0.65 → 0.61 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第 43 週 速報】

- 10 月 21 日、倉敷市内の小学校で、今シーズン県内初となるインフルエンザとみられる臨時休業がありました。
- ※インフルエンザは、9 月から翌年 8 月までを 1 シーズンとしています。今シーズンは、2014/9/1～2015/8/30 です。
- 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157: 幼児 女) の発生がありました。(10 月 22 日)

1. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 42 週の発生報告はありませんでしたが、第 41 週に 1 名の報告があり、岡山県の 2014 年累計報告数は 61 名となっています。岡山県では、「[腸管出血性大腸菌感染症 警報](#)」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. [RS ウイルス感染症](#)は、県全体で 25 名 (定点あたり 1.00 → 0.46 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、岡山市 (1.00 人)、美作地域 (0.67 人)、備中地域 (0.57 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。2014 年第 42 週までの年齢別累計割合では、1 歳未満の乳児が全体の 54%、ついで 1 歳が 32%となっています。第 41 週全国集計によると、定点あたり 0.94 人の報告があり、9 月中旬からほぼ横ばい状態で推移しています。都道府県別では、熊本県 (3.94 人)、宮崎県 (3.33 人)、徳島県 (2.96 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。
この感染症は、例年秋から冬にかけて多くの患者が報告されています。ひきつづき発生状況に注意するとともに、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めて下さい。お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診してください。
3. [A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)は、県全体で 33 名 (定点あたり 0.65 → 0.61 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態です。地域別では、真庭地域 (2.50 人)、倉敷市 (1.09 人)、岡山市 (0.64 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、特に真庭地域では前週に比べて 4 倍以上の増加がみられました。2014 年第 42 週までの年齢別累計割合は、4-5 歳 27%、6-7 歳 23%、2-3 歳 16%となっており、10 歳未満の小児が全体の約 80%を占めています。第 41 週全国集計によると、定点あたり 1.28 人の報告があり、過去 10 年間の同時期と比べて最も多い状態で推移しています。都道府県別では、山口県 (2.94 人)、島根県 (2.52 人)、北海道 (2.37 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。
この感染症は、就学前及び学童期で多く発生がみられます。今後の県内の発生状況に注意し、手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					

【記号の説明】 ・ 前週からの推移：  : 2 倍以上の減少  : 1.1～2 倍未満の減少  : 1.1 未満の増減

 : 1.1～2 倍未満の増加  : 2 倍以上の増加

・ 発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★★:多い ★★★★★★:非常に多い

* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

保健所別報告患者数 2014年 42週 (2014/10/13～2014/10/19)

2014年10月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	—	—	2	0.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	25	0.46	14	1.00	2	0.18	—	—	4	0.57	1	0.25	—	—	4	0.67
咽頭結膜熱	8	0.15	2	0.14	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	0.61	9	0.64	12	1.09	2	0.20	2	0.29	—	—	5	2.50	3	0.50
感染性胃腸炎	245	4.54	62	4.43	54	4.91	42	4.20	7	1.00	25	6.25	10	5.00	45	7.50
水痘	31	0.57	10	0.71	5	0.45	4	0.40	11	1.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	7	0.13	1	0.07	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	24	0.44	10	0.71	9	0.82	1	0.10	1	0.14	1	0.25	—	—	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	6	0.11	2	0.14	2	0.18	1	0.10	—	—	—	—	—	—	1	0.17
流行性耳下腺炎	13	0.24	5	0.36	2	0.18	2	0.20	2	0.29	1	0.25	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	—	—	2	0.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	8	0.15	2	0.14	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	0.61	9	0.64	12	1.09	2	0.20	2	0.29	—	—	5	2.50	3	0.50
感染性胃腸炎	245	4.54	62	4.43	54	4.91	42	4.20	7	1.00	25	6.25	10	5.00	45	7.50
水痘	31	0.57	10	0.71	5	0.45	4	0.40	11	1.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	7	0.13	1	0.07	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	6	0.11	2	0.14	2	0.18	1	0.10	—	—	—	—	—	—	1	0.17
流行性耳下腺炎	13	0.24	5	0.36	2	0.18	2	0.20	2	0.29	1	0.25	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—

黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3

薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第42週 2014/10/13～2014/10/19)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—

疾病名	合計		-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	25	6	3	12	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	8	—	—	4	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	—	—	1	3	—	3	5	4	3	4	—	7	—	3	3
感染性胃腸炎	245	9	19	39	25	27	21	14	11	9	9	7	21	2	32	32
水痘	31	—	—	10	5	4	4	3	3	—	1	—	1	—	—	—
手足口病	7	1	—	1	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	24	1	11	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	6	—	1	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	13	—	—	—	1	2	3	—	2	2	—	—	2	—	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

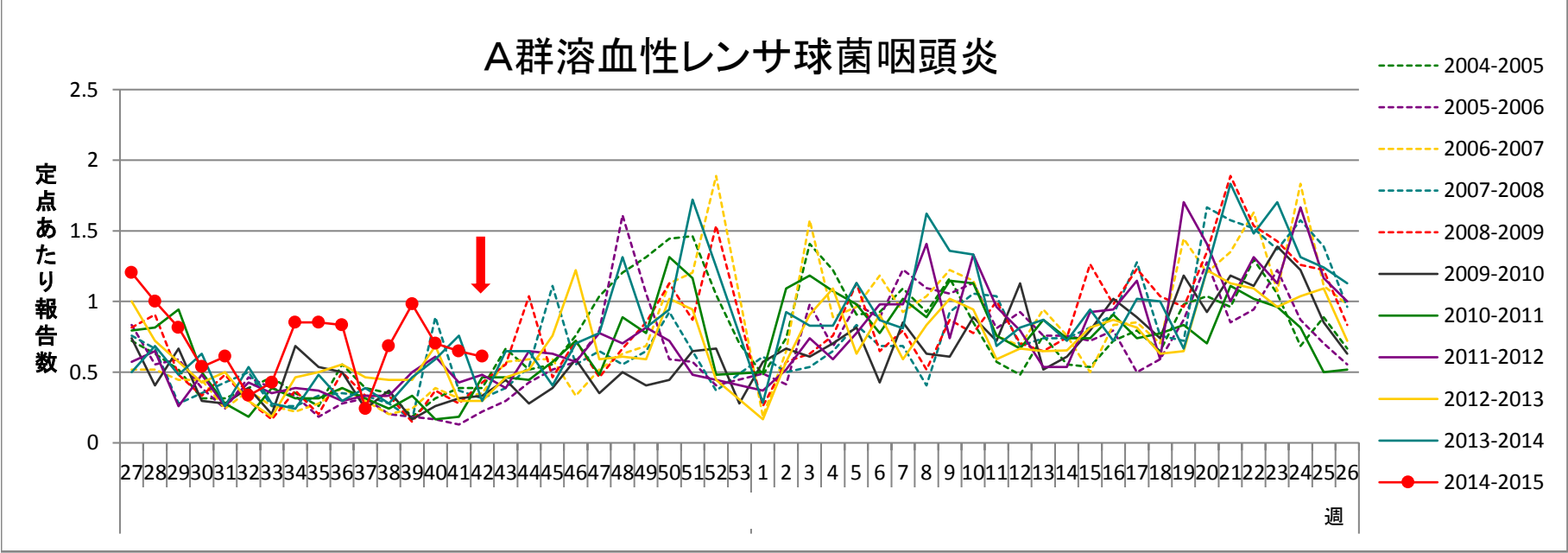
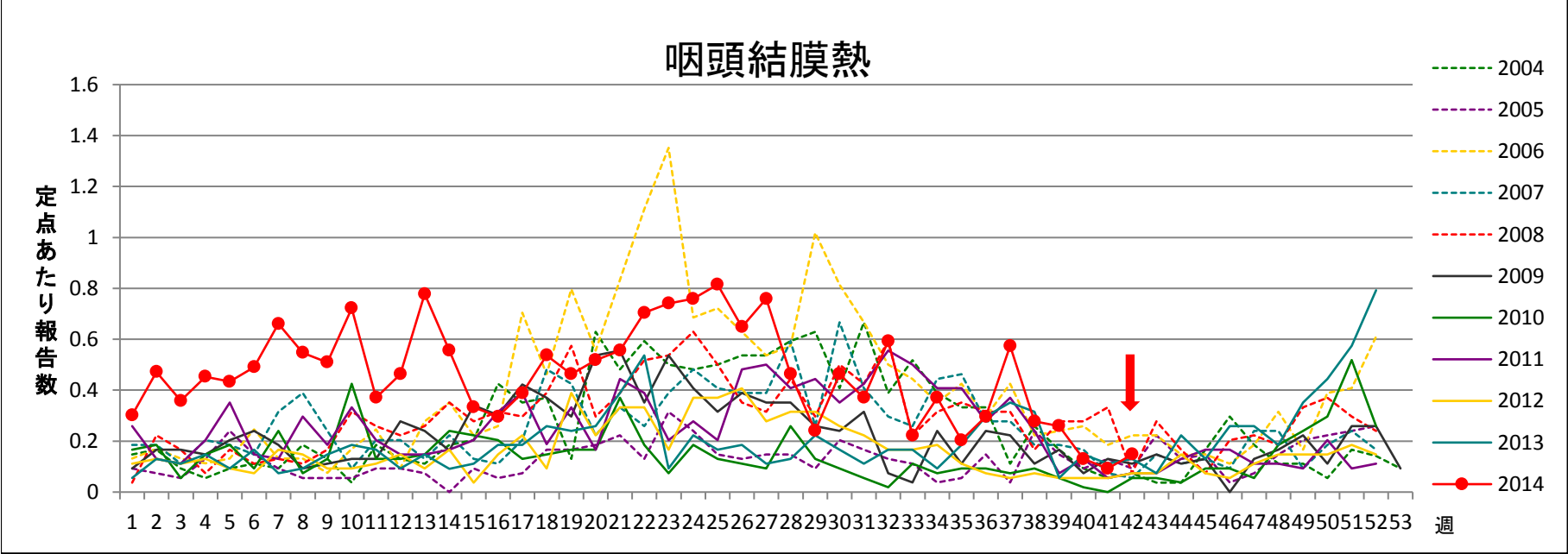
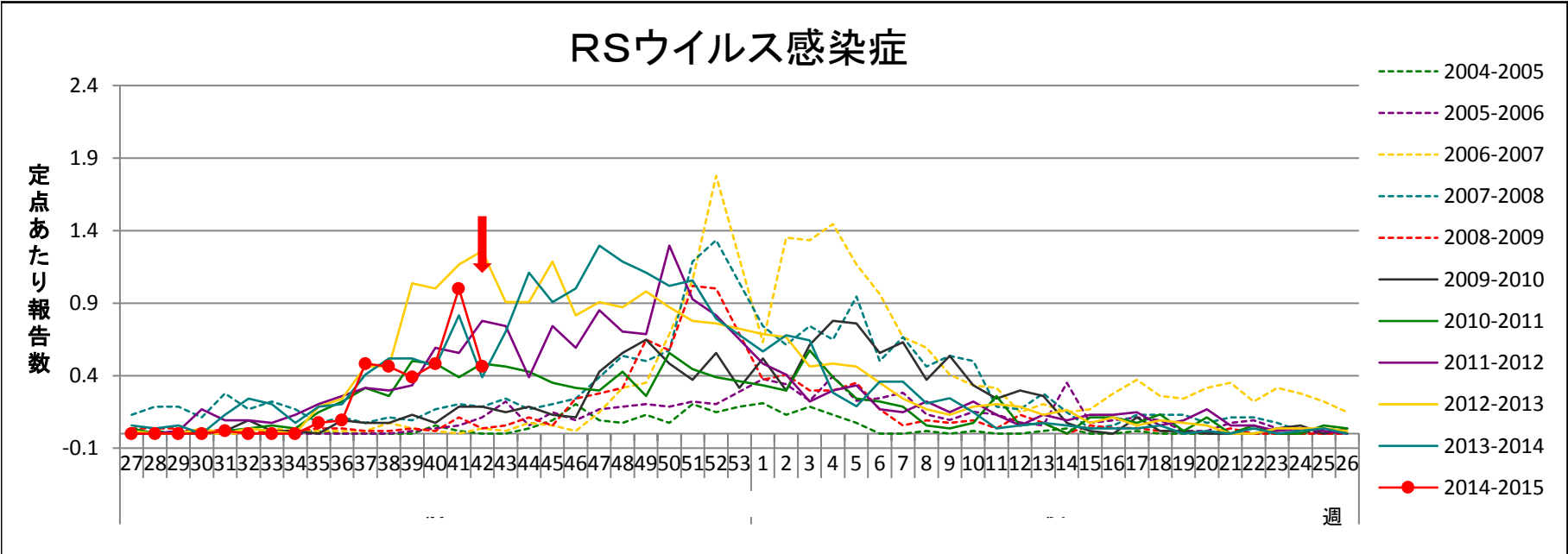
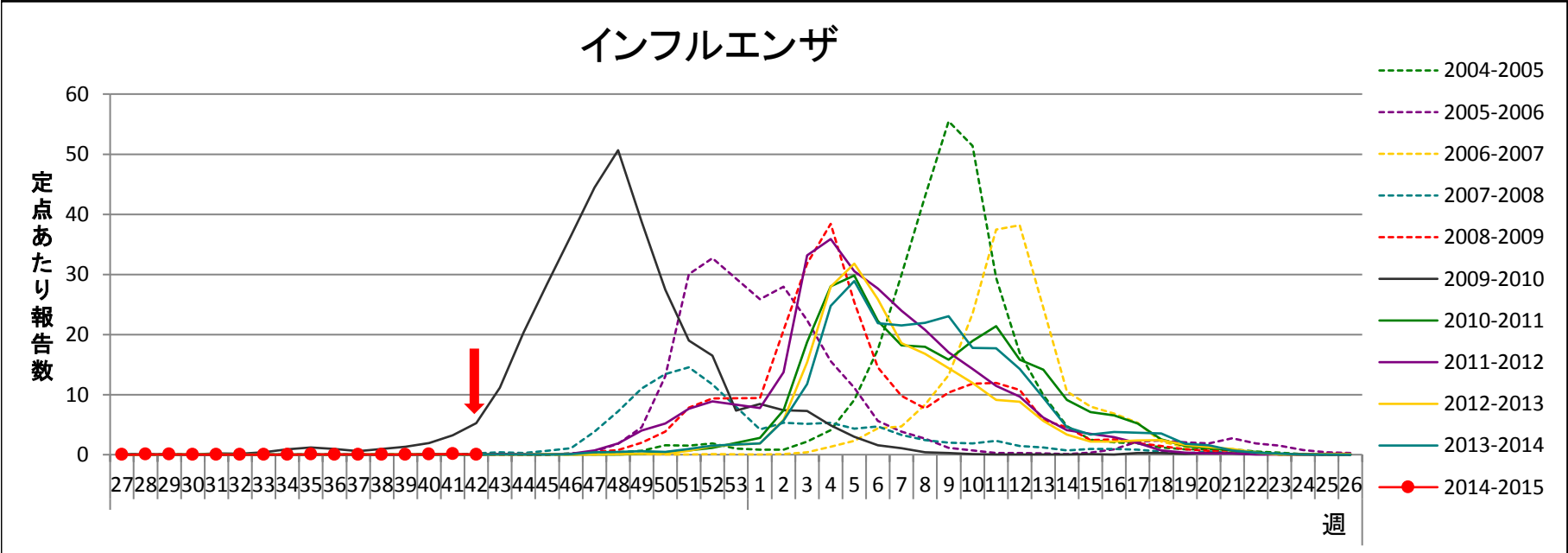
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

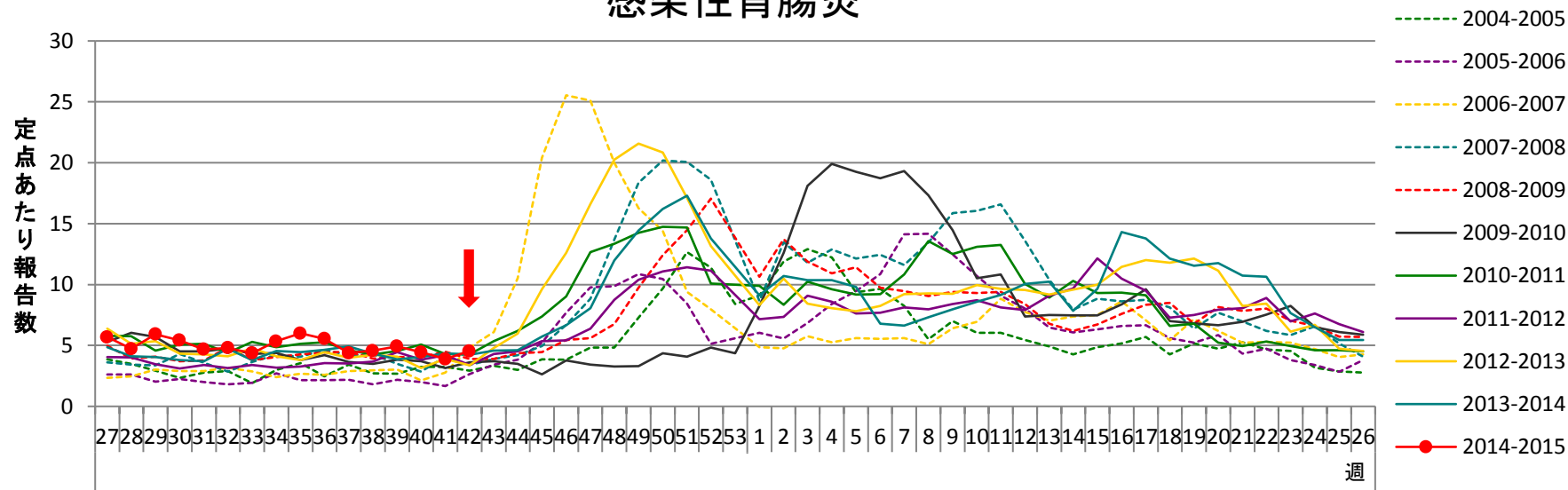
全数把握 感染症患者発生状況

2014 年 42 週

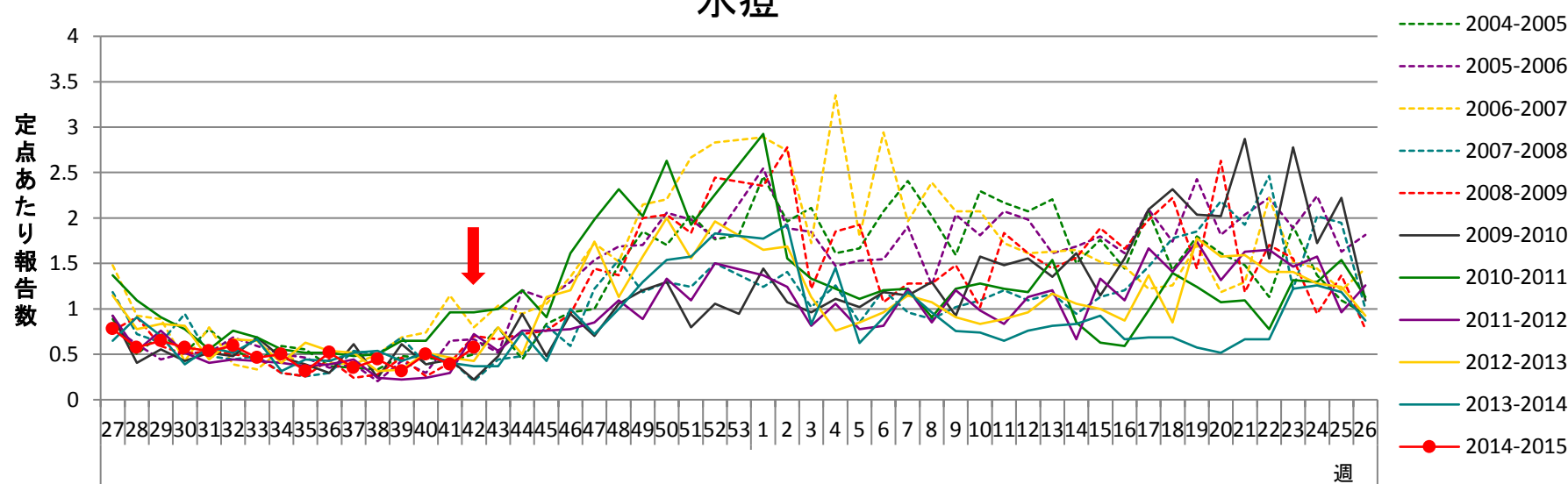
分類	疾病名	2014		2013	疾病名	2014		2013	疾病名	2014		2013
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	－	－	－	クリミア・コンゴ出血熱	－	－	－	痘そう	－	－	－
	南米出血熱	－	－	－	ペスト	－	－	－	マールブルグ病	－	－	－
	ラッサ熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－
二類	急性灰白髄炎	－	－	－	結核	4	298	358	ジフテリア	－	－	－
	重症急性呼吸器症候群	－	－	－	鳥インフルエンザ(H5N1)	－	－	－		－	－	－
三類	コレラ	－	－	－	細菌性赤痢	－	－	－	腸管出血性大腸菌感染症	－	61	87
	腸チフス	－	－	1	パラチフス	－	－	－		－	－	－
四類	E型肝炎	－	1	－	ウエストナイル熱	－	－	－	A型肝炎	－	6	5
	エキノкокクス症	－	－	－	黄熱	－	－	－	オウム病	－	－	－
	オムスク出血熱	－	－	－	回帰熱	－	－	－	キャサヌル森林病	－	－	－
	Q熱	－	－	－	狂犬病	－	－	－	コクシジオイデス症	－	－	－
	サル痘	－	－	－	重症熱性血小板減少症候群	－	2	2	腎症候性出血熱	－	－	－
	西部ウマ脳炎	－	－	－	ダニ媒介脳炎	－	－	－	炭疽	－	－	－
	チクングニア熱	－	－	－	つつが虫病	－	1	－	デング熱	－	1	－
	東部ウマ脳炎	－	－	－	鳥インフルエンザ	－	－	－	ニパウイルス感染症	－	－	－
	日本脳炎	－	－	1	日本紅斑熱	－	4	2	ハンタウイルス肺症候群	－	－	－
	Bウイルス病	－	－	－	鼻疽	－	－	－	ブルセラ症	－	－	－
	ベネズエラウマ脳炎	－	－	－	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－	発しんチフス	－	－	－
	ポツリヌス症	－	－	－	マラリア	－	－	1	野兎病	－	－	－
	ライム病	－	－	－	リッサウイルス感染症	－	－	－	リフトバレー熱	－	－	－
	類鼻疽	－	－	－	レジオネラ症	－	24	24	レプトスピラ症	－	－	2
	ロッキー山紅斑熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－
五類	アメーバ赤痢	－	8	20	ウイルス性肝炎*3	－	7	13	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	2	4	－
	急性脳炎*4	－	9	5	クリプトスポリジウム症	－	－	－	クロイツフェルト・ヤコブ病	－	1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	－	3	3	後天性免疫不全症候群	1	19	18	ジアルジア症	－	－	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	－	－	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	－	－	－	侵襲性肺炎球菌感染症	－	20	20
	水痘(入院例に限る。)	－	1	－	先天性風しん症候群	－	－	－	梅毒	－	13	8
	播種性クリプトкокクス症	－	－	－	破傷風	－	1	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	－	－	－
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	－	1	1	風しん	－	2	76	麻しん	－	6	3
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	－	－	－		－	－	－		－	－	－



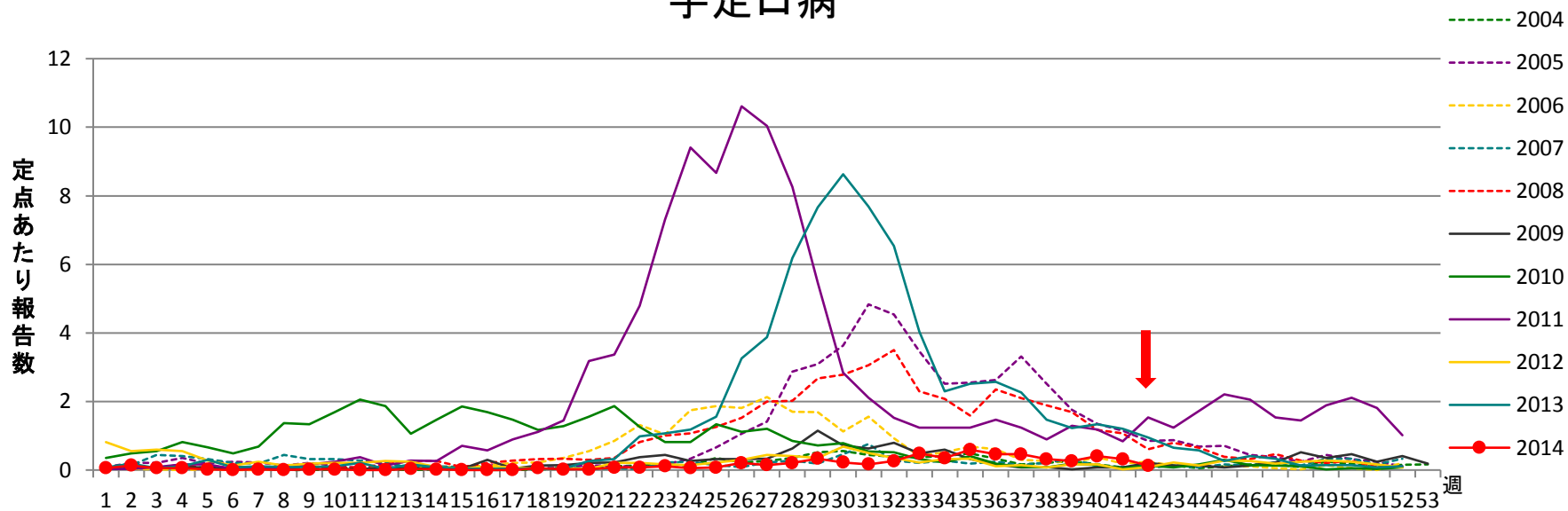
感染性胃腸炎



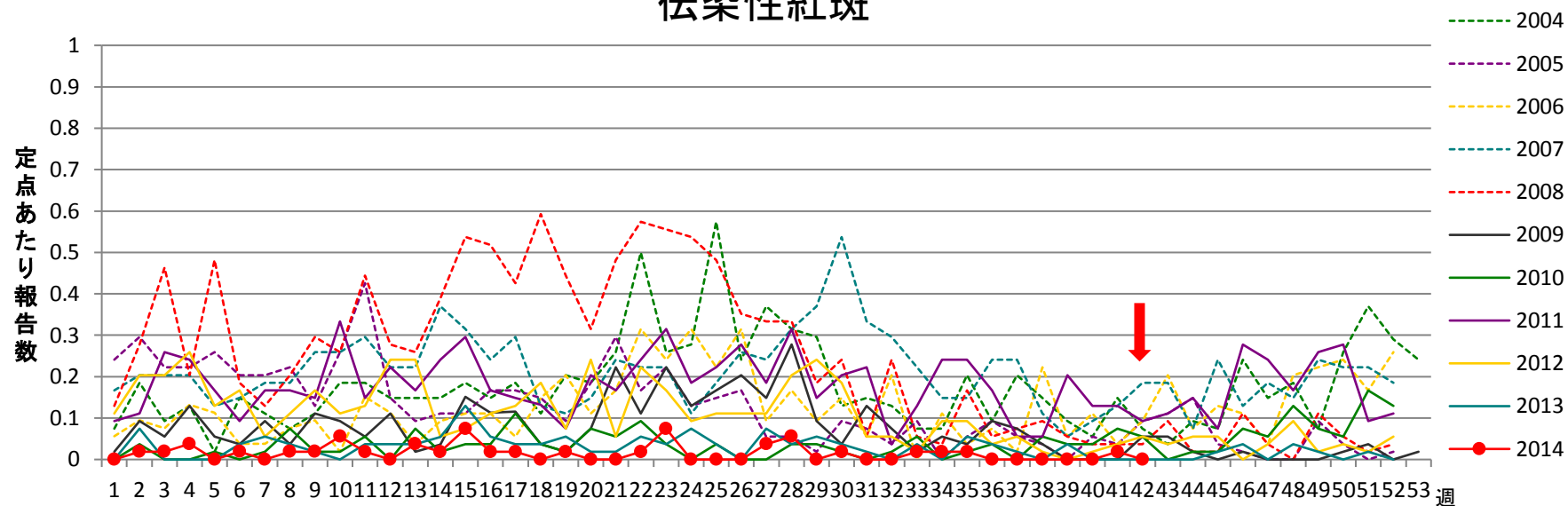
水痘



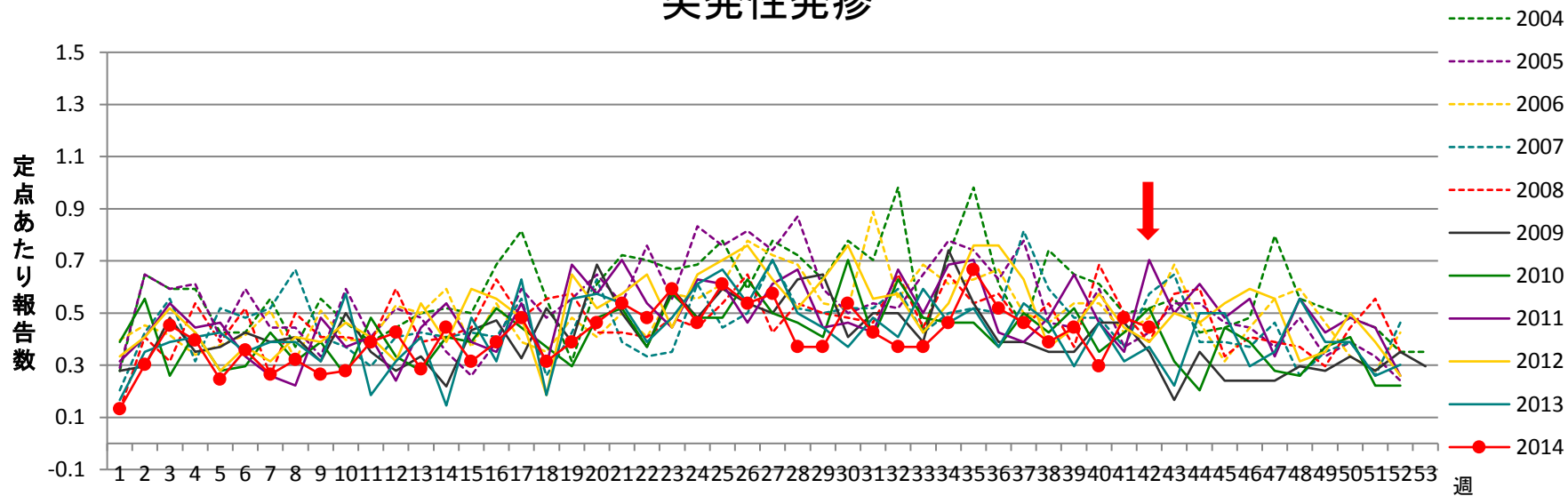
手足口病



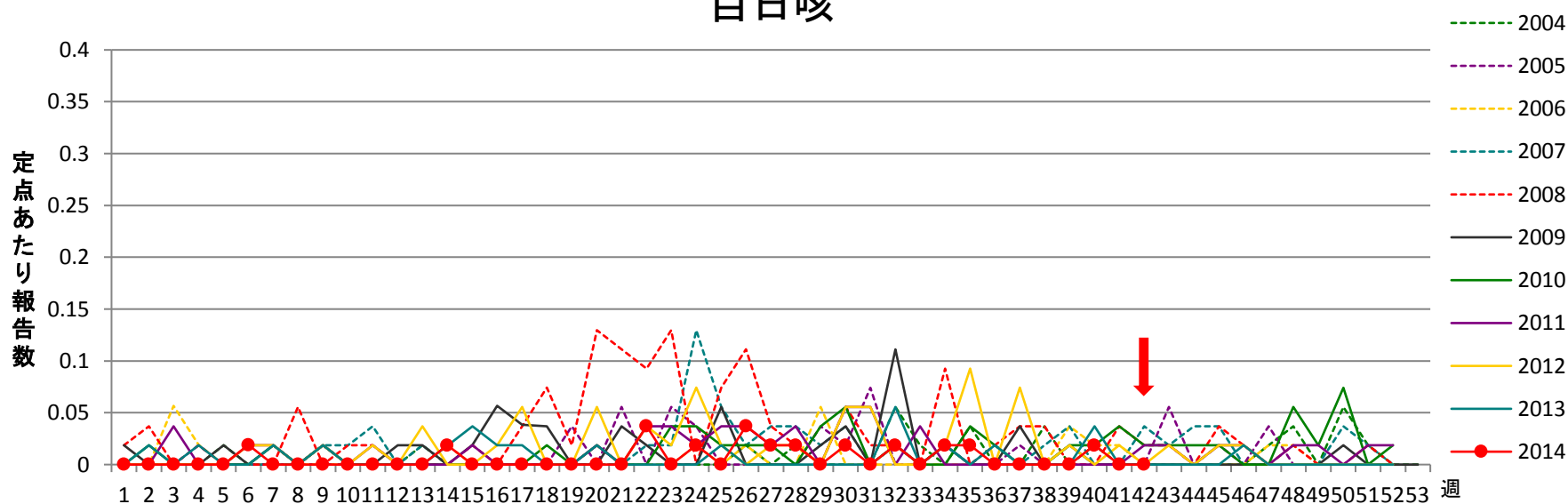
伝染性紅斑



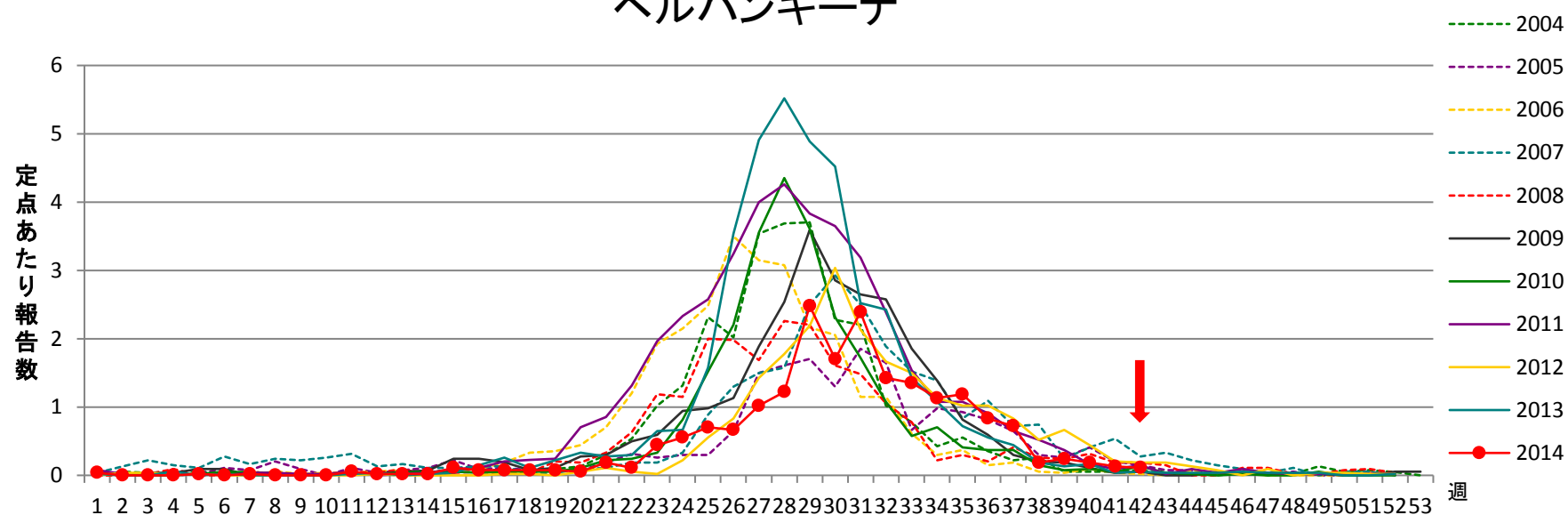
突発性発疹



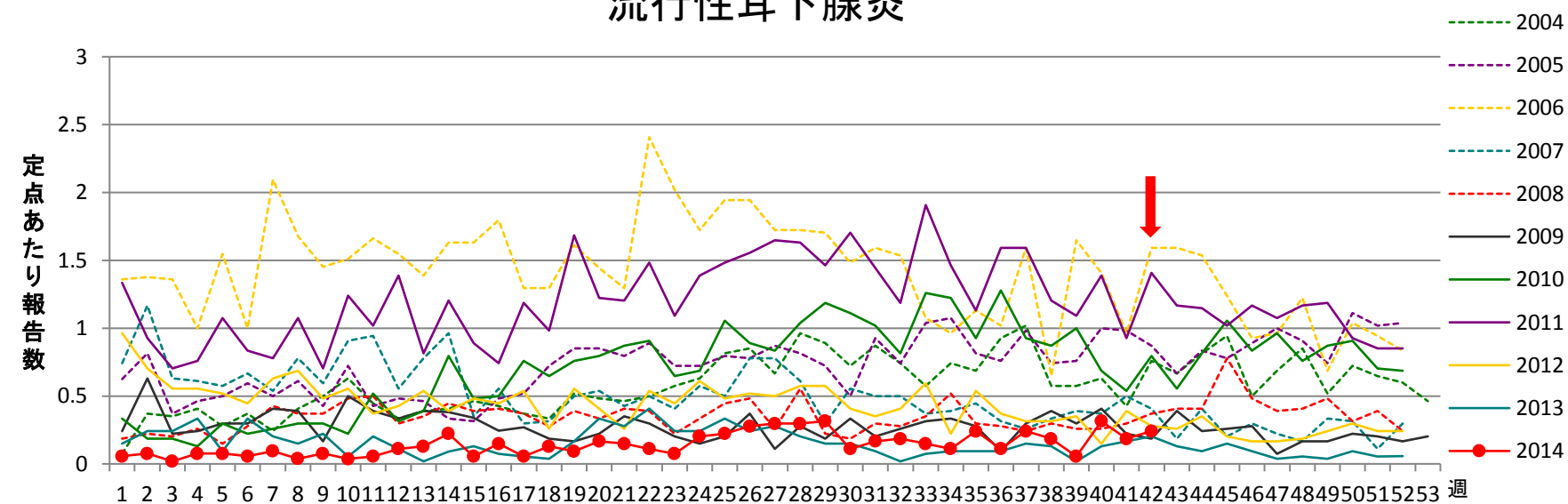
百日咳



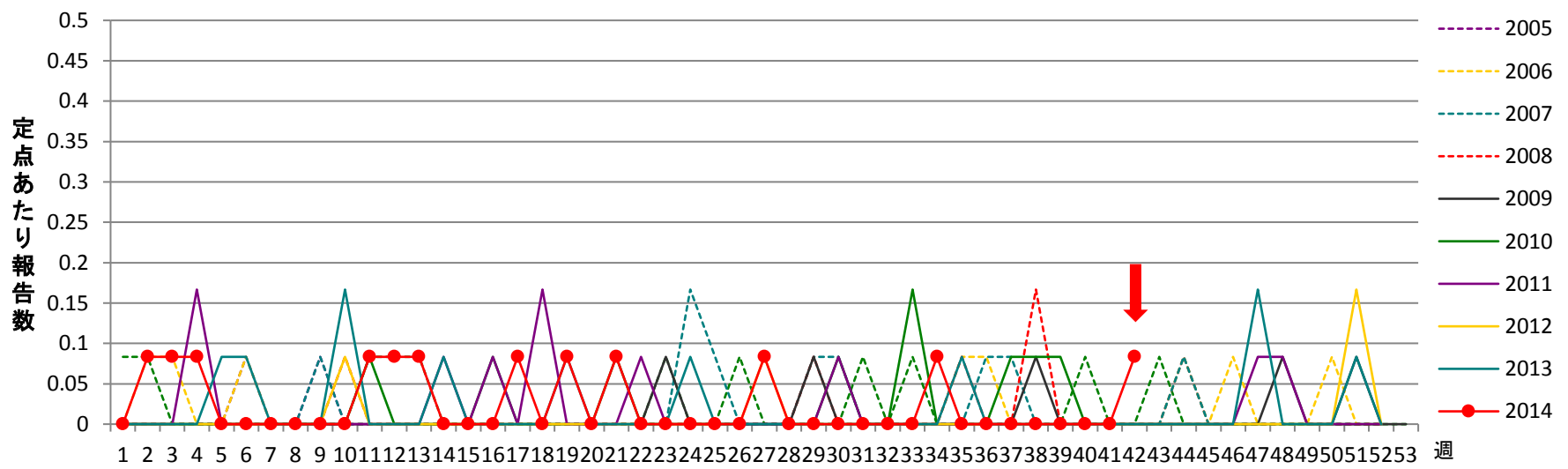
ヘルパンギーナ



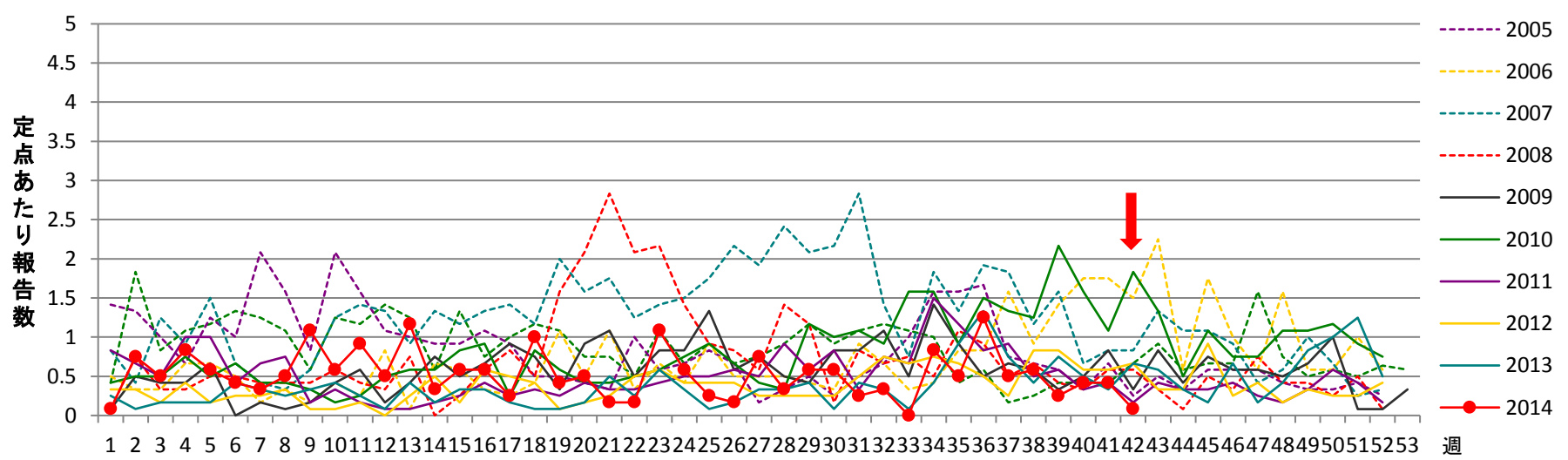
流行性耳下腺炎



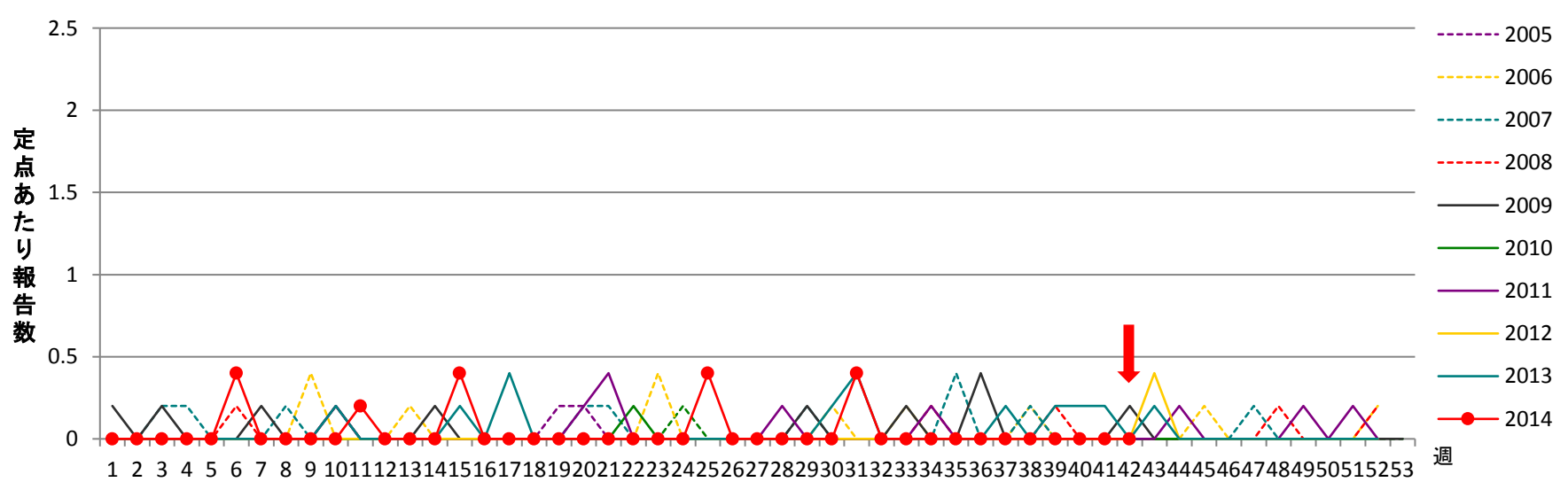
急性出血性結膜炎



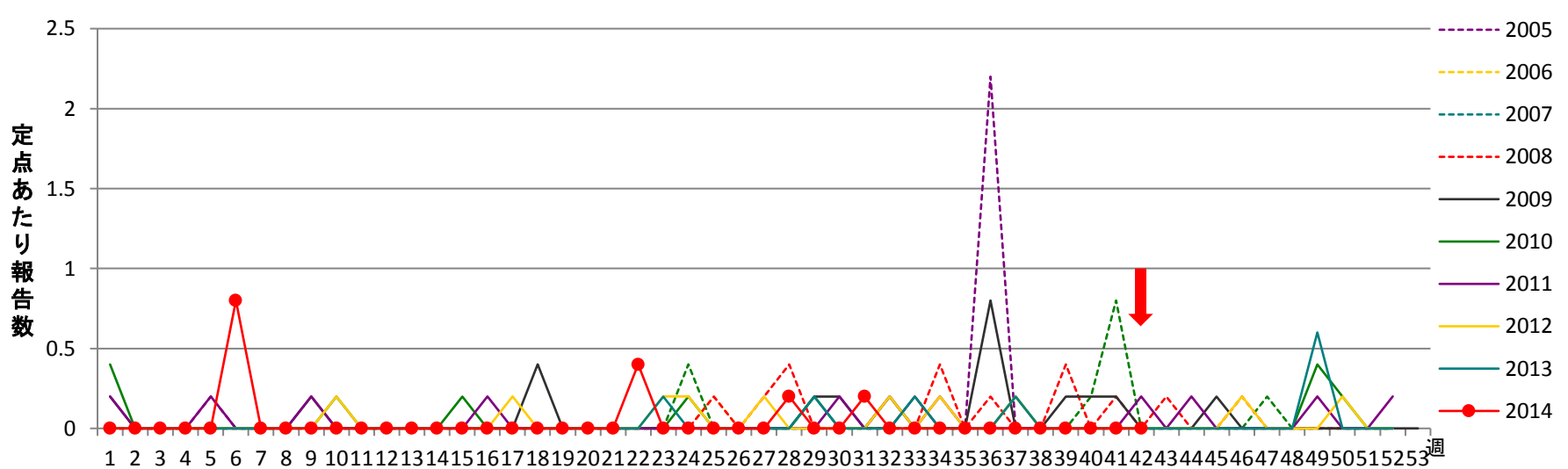
流行性角結膜炎



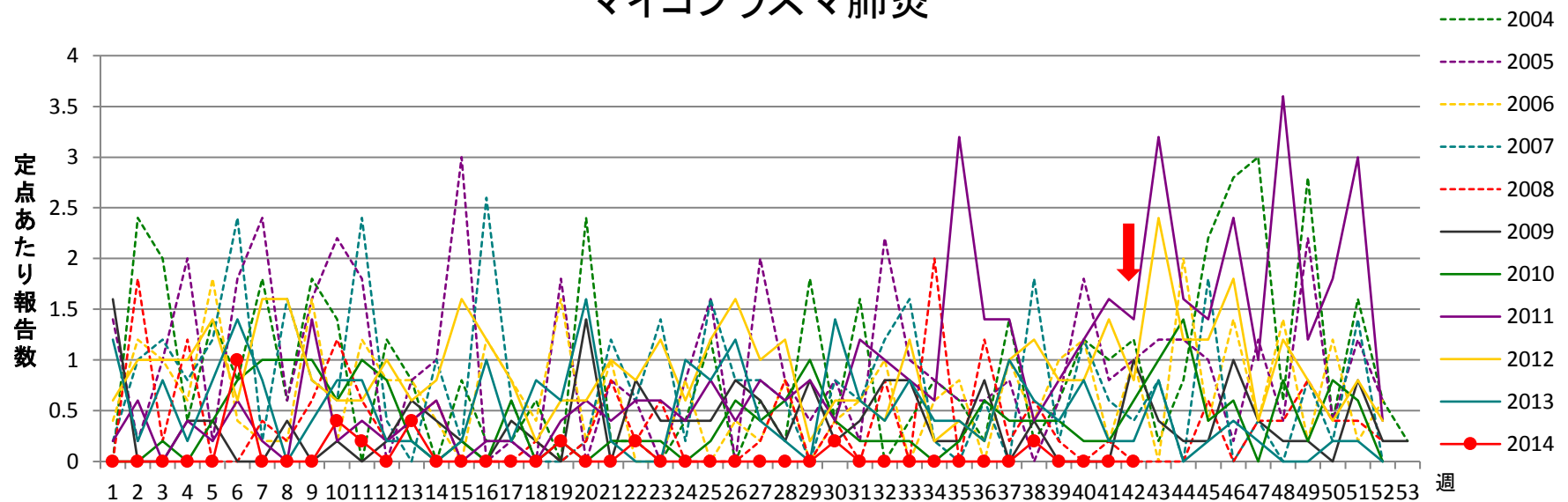
細菌性髄膜炎



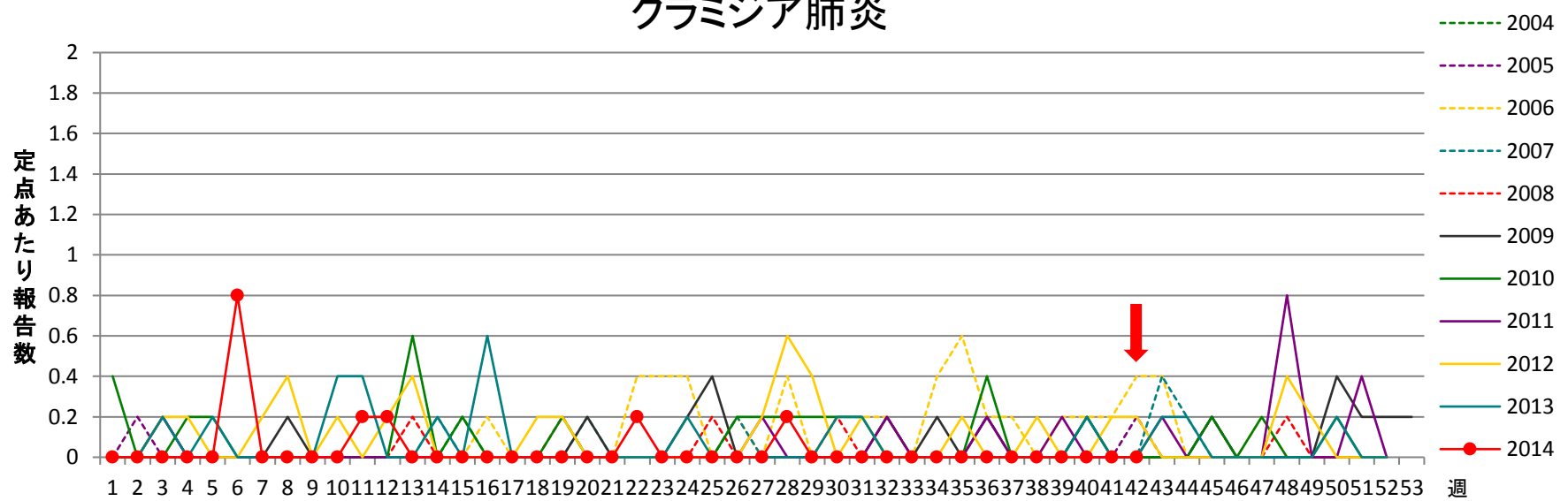
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

